

第74期 第2四半期(中間)報告書

2019年10月1日から2020年3月31日まで



証券コード：9869



株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第74期第2四半期(中間)決算につき、その概要をご報告申し上げます。

食品流通業界におきましては、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、消費税増税により生活防衛意識がさらに高まっております。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活や購買行動には多様化が広まり、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、人手不足や働き方改革等に伴う物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響に関しては、政府や地方自治体の外出自粛要請などにより家庭内消費に関連する需要が増大する一方、外食関連の需要については大幅に減少しております。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、取引先との取組みを強化し、提案型営業をさらに推進するなど卸売業としての営業機能を強化するとともに、自社ブランド商品の開発・拡売により収益の確保を図りました。加えて、負担が増大する物流費をはじめとした諸経費に関しては物流関連業務の見直しや業務の標準化推進に取り組むことで生産性を向上させ、経営の効率化を進めてまいりました。そして、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、食のインフラを担う食品卸売業として仕入先や得意先、物流関連などの取引先と連携し、食品

の安定供給という社会的使命を果たしてまいりました。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。そして、2019年12月にはマレーシア半島部中南部を営業地域とするMerison (M) Sdn. Bhd.の株式を取得することについて株式譲渡契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて3.2%増加して5,483億24百万円となり、営業利益は63億1百万円(前年同四半期比5.8%増)、経常利益は71億63百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて21.4%増加して46億43百万円となりました。

なお、中間配当金は、当初予想のとおり1株につき33円とさせていただきます。また、2020年9月期末につきましても1株につき33円を予定しており、年間配当予想は66円となります。

通期の見通しにつきましては、第3四半期以降の新型コロナウイルスによる当社業績への影響が不透明であり、合理的な予測が困難であるため、当初予想を据え置き、今後修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 加藤 和弥

売上高	5,483億24百万円	前年同四半期比 3.2%増加	▲
営業利益	63億1百万円	前年同四半期比 5.8%増加	▲
経常利益	71億63百万円	前年同四半期比 4.2%増加	▲
親会社株主に帰属する四半期純利益	46億43百万円	前年同四半期比 21.4%増加	▲

マレーシアにおける食品卸売事業を強化

当社は、2019年12月にマレーシアに本社を置くMerison (M) Sdn. Bhd.(以下、Merison)の株式を取得することについて、株式譲渡契約を締結しました。Merisonは、マラッカやジョホールバルを中心としたマレーシア半島部中南部を営業地域として、主要な仕入先、得意先との強い取引関係を築き上げることで、確固たる地位を確立している有力卸売企業です。

当社グループは、すでにマレーシアにおいてクアラルンプールおよび北部を中心に事業(Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.他)を展開しておりますが、本件買収によりマレーシア第二の市場である南部市場へ進出することで、マレーシア半島部全域を営業地域とする同国最大級の卸売業グループとなります。

また、マレーシア南部(ジョホールバル)はシンガポールと隣接していることもあり、当社グループのシンガポール事業(Naspac Marketing Pte. Ltd.)とのシナジーも期待できます。

当社グループは、海外事業を今後の成長戦略の一つとして位置づけており、より一層の事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。



【会社の概要】

社 名：Merison (M) Sdn. Bhd. 資 本 金：2,000千リンギット
 売 上 高：392,495千リンギット(2018年度) ※1リンギット=約25円(2020年4月末現在)

※新型コロナウイルスの感染拡大により、株式取得の時期が当初のスケジュールより遅れる可能性があります。

人気動画メディア「Tastemade」との共同プロジェクト開始

当社は、2020年4月にライフスタイル動画メディア「Tastemade(テイストメイド)」※を運営するTastemade Japan株式会社との共同プロジェクトとして、当社の「GREENWOOD 手造りジャム」を使用したジャム大福のレシピ動画を、当社及びTastemadeの公式SNSにて公開いたしました。当レシピは誰でも気軽においしく作ることができるレシピとなっており、「GREENWOOD 手造りジャム」特有の果実のごろっと感と自然な甘みを、新たな食べ方とともに楽しみいただけます。



当社公式YouTubeアカウント ▶



※ Tastemadeは、2012年にロサンゼルスで設立された全世界で月間視聴者数2.5億人、再生回数30億回超を誇るライフスタイル動画メディアです。2016年には日本法人としてTastemade Japan株式会社を設立、日本オリジナルコンテンツの制作・配信サービスを開始しており、国内SNSフォロワーは合計600万人弱に及びます。

新型コロナウイルスへの対応

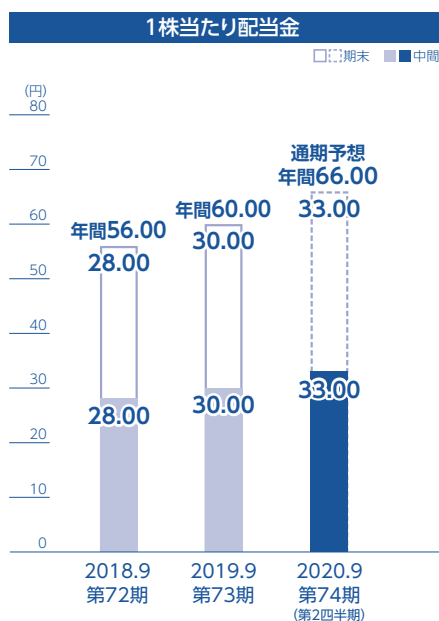
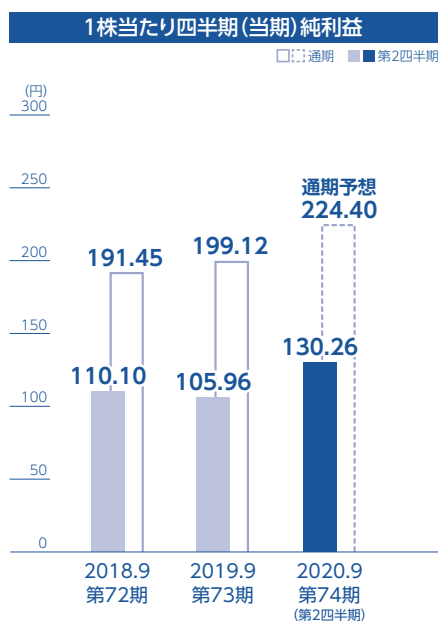
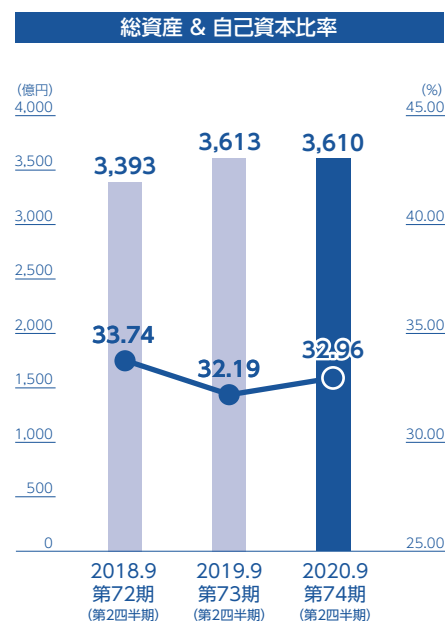
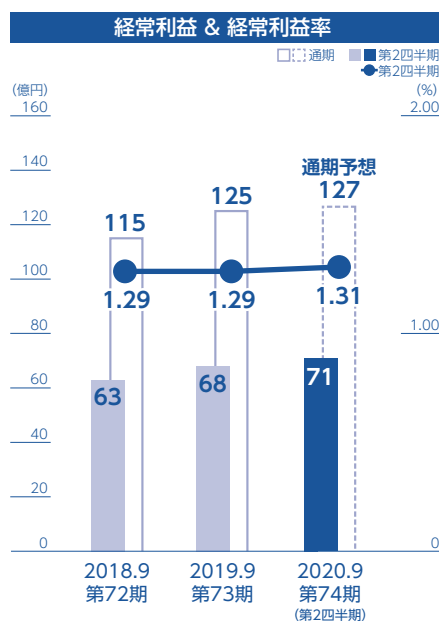
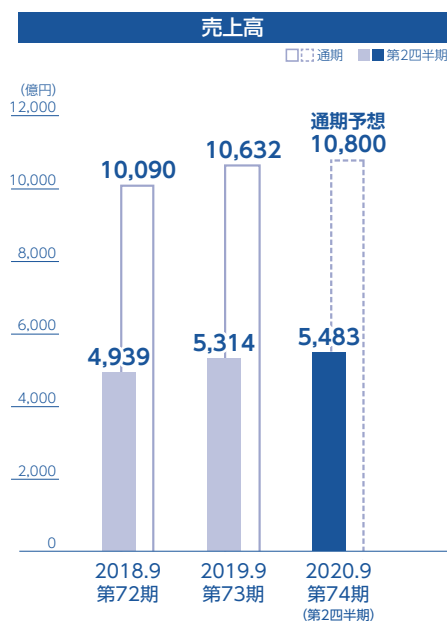
新型コロナウイルスの感染が拡大する中、当社はお取引先様や従業員及びその家族をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまの安全・健康を第一に考え、マスクの着用や手指のこまめな消毒、積極的な在宅勤務の活用等、感染拡大防止に向けた取り組みを実施しております。食品流通に携わる当社は、食品の安定供給という社会的使命を果たすべく、引き続き衛生管理と感染拡大防止を徹底の上、事業を継続してまいります。

主要な事業の概況 Segment Review

	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業
売上高	3,768億92百万円 (前年同四半期比5.4%増加)	521億18百万円 (前年同四半期比1.7%増加)	965億9百万円 (前年同四半期比2.0%減少)	195億8百万円 (前年同四半期比5.5%減少)
営業利益	50億80百万円 (前年同四半期比12.7%増加)	△17百万円 (前年同四半期は営業利益1億56百万円)	4億45百万円 (前年同四半期比41.8%減少)	87百万円 (前年同四半期は営業損失1億6百万円)

※売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。
 ※営業利益は、のれん償却費を含んでおります。

連結財務・業績ハイライト Consolidated Financial Highlights



会社概要

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,070名

役員(取締役・監査役)及び執行役員

代表取締役社長	加藤和弥	執行役員	小野聡
専務取締役	山中謙一	執行役員	西本忠司
常務取締役	太田尚史	執行役員	明石誠
常務取締役	中村考直	執行役員	和田陽一
常務取締役	菅公博	執行役員	金子潤一
取締役	日比啓介	執行役員	松村努
取締役	打田雅俊	執行役員	井原太郎
取締役	次家成典	執行役員	中谷勤
社外取締役	八十川祐輔	執行役員	池内斉
社外取締役	海保理子	執行役員	大西高司
常勤監査役	相良広基	執行役員	松浦博幸
常勤監査役	神月豊		
社外監査役	山村幸治		
社外監査役	森内茂之		

主要グループ会社

会社名	事業内容
国内	◎ 三陽物産(株) 酒類・食品卸売業
	◎ ケイ低温フーズ(株) 低温食品卸売業
	◎ ヤタニ酒販(株) 酒類・食品卸売業
	◎ カトー菓子(株) 菓子卸売業
	◎ (株)植嶋 菓子卸売業
	◎ Lein Hing Holdings Sdn. Bhd. 食品・日用雑貨卸売業
	◎ Naspac Marketing Pte. Ltd. 食品卸売業
海外	◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd. 食品卸売業
	◎ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd. 食品卸売業
	◎ 上海加産貿易有限公司 食品卸売業
	△ 深圳華新創展商貿有限公司 食品卸売業
物流	◎ マンナ運輸(株) 運送業
	◎ カトーロジスティクス(株) 運送業
メーカー	◎ 和歌山産業(株) 食品製造業
	◎ 兵庫興農(株) 食品製造業
外食	◎ (株)アドバンス・キッチン 飲食業
その他	◎ 加藤不動産(株) 損害保険代理店業
	◎ 加藤SCアジア インベストメント(株) 海外事業投資業

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	6,969名(内、単元株所有者数: 6,601名)

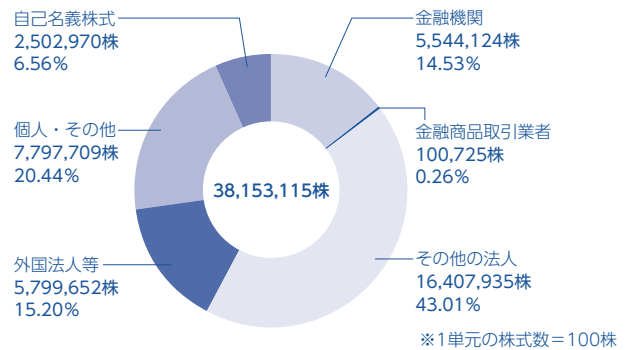
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,153	8.84
住友商事株式会社	1,931	5.42
三菱商事株式会社	1,787	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,514	4.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	966	2.71
加藤和弥	953	2.67
株式会社加藤興産	850	2.38
キューピー株式会社	841	2.36
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.35
カゴメ株式会社	731	2.05

(注)1. 当社は自己株式2,502,970株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

2. 持株比率は自己株式(2,502,970株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 同
 連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

「CSR報告書」発行

毎年1回、当社グループの環境への取組みを中心に編集・発行してまいりました「環境・社会報告書」を、「CSR報告書」と改称し発行いたしました。当社グループのミッション及びビジョンの実現に向けたCSR(企業の社会的責任)への取組み状況をより多く取りまとめた内容としております。



詳細データ等は、ウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.katosangyo.co.jp/csr/report/>



加藤産業株式会社
<http://www.katosangyo.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。